

数学オリンピック財団から 14

公益財団法人 数学オリンピック財団
理事長 小林一章

2013年の国内予選、本選、春の合宿も終わり、国際数学オリンピック(IMO)、アジア太平洋数学オリンピック(APMO)、中国女子数学オリンピック(CGMO)、国際数学競技会(IMC)の日本代表も決まりました。今年の予選応募者はJMOが3,412名で昨年に比べ558名増、JJMOは1,962名で昨年に比べ239名増でした。JMO、JJMO共に、この2年間の増加数は大きく、全国的に会場を増やしたり、会場を広げたりしました。特にJMOは応募者が3000名を超えたので、今まで本選出場者はJMO、JJMO共に100名前後だったものを今年JMOは193名と大幅に増やしました。これに伴い本選会場も多くなりました。ただし、本選会場は増えたのですが、まだ地方の本選会場での受験者は多くはありません。近い将来もっと地方の本選受験者を増やしたいものです。3月23日より春合宿が始まり、IMO日本代表候補者25名の他に、CGMO代表候補者3名、IMC代表候補者1名を加えて合計29名の生徒を集めて行いました。その後4月初旬に行われたJCIMOで各日本代表は以下のよう
に決まりました。

IMO コロンビア大会日本代表 <大会開催地：アルゼンチン・サンタマルタ>

・今年は久しぶりに女子が代表になりました。

金城 翼	福岡大学附属大濠高等学校	2年
増田 成希	筑波大学附属駒場高等学校	3年
中川 雅洋	灘高等学校	3年
野村 建斗	筑波大学附属駒場高等学校	2年
上笠 隆宏	早稲田高等学校	2年
山下 真由子	東京都立新宿山吹高等学校	3年

(学年は2013年4月現在)

APMO 日本代表 <主催国：カザフスタン>

・昨年に引き続き、今年も最優秀者が女子となりました。

山下 真由子	東京都立新宿山吹高等学校	2年
金城 翼	福岡大学附属大濠高等学校	1年
北村 拓真	灘高等学校	3年
村井 翔悟	開成高等学校	3年
伊藤 均	灘高等学校	1年
三谷 庸	灘高等学校	2年

宮本 大輔	灘高等学校	1年
野村 建斗	筑波大学附属駒場高等学校	1年
早川 知志	洛星高等学校	1年
黒住 篤優	灘高等学校	3年

(学年は 2013 年 3 月時点)

CGMO 日本代表団 <大会開催地：中国・浙江省（宁波市）>

・今年は、全員高校 3 年生が代表となりました。

森 悠貴	豊島岡女子学園高等学校	3年
鳥巢 美貴	久留米大学附設高等学校	3年
渡辺 翠	桜蔭高等学校	3年
山下真由子	東京都立新宿山吹高等学校	3年

(学年は 2013 年 4 月現在)

IMC ブルガリア大会 日本代表 <大会開催地：ブルガリア・ブルガス>

・代表選手に 2 年生も加わりました。どのような成績をあげるか楽しみです。

青木 孔	筑波大学附属駒場中学校	3年
池田 亘孝	筑波大学附属駒場中学校	2年
依知川 空	開成中学校	3年
藏田 力丸	灘中学校	3年

(学年は 2013 年 4 月現在)

春の合宿の成績をもとに、JCIMO でそれぞれの大会の日本代表選手が決定されて、4 月 27 日（土）から 29 日（月）までの 2 泊 3 日間で第 1 回目の強化合宿が行われました。JCIMO で最終的に各大会の日本代表が決定された以後、初めての顔合わせでした。

選手の皆さんは、春の合宿で顔見知りでしたのですぐ打ち解け、チューターから各大会についての注意を受けて、各大会に向けて講義、演習を行いました。特に IMO、CGMO は個人戦ですが、IMC は個人戦、チーム戦があり、その練習をしっかりと行う必要がありました。

この強化合宿は、5 月 25 日（土）から 26 日（日）に第 2 回目が行われ、6 月 22 日（土）から 23 日（日）に第 3 回目が予定されています。更に、各大会の日本出発の前日には直前合宿があり、最終的な調整が行われる予定です。今年はどうなるのか楽しみです。

ただ、CGMO に関しては今のところ鳥インフルエンザが非常に心配です。せっかく頑張ってきたので、なんとか送り出したいところですが、こればかりは中国の状況次第というところでは。